

各位

国際基準の給付奨学金・無償教育の実現を 求める請願署名にご協力をお願いします

国民のための奨学金制度の拡充をめざし、
無償教育をすすめる会（奨学金の会）
会長 三輪 定宣（千葉大学名誉教授）

みなさまの連日のご奮闘に心から敬意を表します。

物価高騰と高学費の前に、日本の学生は「働くか借金か」の厳しい選択を迫られています。

2024年10月に行われた総選挙では、すべての主要政党が「高等教育無償化」を公約に掲げ、石破首相も直前に行われた自民党総裁選で「国立大学・高専の無償化」を公約しました。ところが東京大学など複数の国立大学が来年度入学者から授業料を20%引き上げると発表し、定員3000人以上の私立大学の48%が授業料値上げを表明しています。

施行5年目の大学等修学支援金制度は、対象を厳しく限定した結果、毎年度の予算が5000億円台に対し実績額は3000億円前後と約6割に留まっています。さらに大学院生に対して授業料後払いという新たなローンを導入するなど、高等教育無償化に逆行しています。

日本政府は2012年9月11日、国際人権A規約「経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約（A規約）」13条2項（b）（c）（中等・高等教育の無償教育の漸進的導入の規定）の留保撤回を国連事務総長に通告し、すべての教育段階で「無償教育の漸進的導入」をすすめることを国際公約しました。あれから12年が経過し、政府は未だに無償化のロードマップを示さず、教育への公財政支出は、経済協力開発機構（OECD）加盟38カ国のうち、対GDP比平均（2021年）4.15%に対し、日本は2.90%と下から2番目です。

教育予算を世界水準に引き上げ、誰もが安心して学べる社会をつくるために、今回17回目になる請願署名を取り組みます。ぜひ貴組織における積極的なご協力をお願いいたします。

下記注文票にご記入いただき、FAXにてご返信いただければ幸いです。

キ リ ト リ

「奨学金の会」署名用紙注文票

1. 団体・個人名 []
- 送付先住所 [〒]
- 電話・FAX []
- メールアドレス（任意） []
- 署名用紙枚数 個人署名 [] 枚 *5名連記
- 返信用封筒 長3封筒 [] 枚/角2封筒 [] 枚 *切手はカンパをお願いします

2. 署名集約 第1次2025年3月末 第2次2025年5月末

3. 署名集約先 〒104-0061 東京都中央区銀座6-18-2 野村不動産銀座ビル8F 学支労気付

TEL & FAX 03-5565-0102 奨学金の会事務局

ホームページ <http://shougakukin.sakura.ne.jp> メール kyuuhu@shougakukin.sakura.ne.jp